

などを補正

6月定例会

6月定例会は、6月18日から6月28日までの11日間の会期で開催されました。補正予算をはじめ、条例の制定・一部改正などが審議され、また、議員発議により、地方財政対策に関する意見書が提出されました。

一般会計の主な補正

補正予算の主なものは、活動火山周辺地域防災
営農対策事業費など、9億6538万1千円を
追加し、補正後の予算総額を215億2538
万1千円としました。

総務費

○まちづくり事業費

1000万円

宝くじの社会貢献事業として、財団法人自治総合センターが実施しているコミュニティ助成事業に採択された団体へ助成を行うものである。

○世界記憶遺産推進費

525万円

知覧特攻平和会館で収蔵している特攻関係資料の永久保存を行うための経費である。

審査の中で

問 世界記憶遺産登録に係る課題は。

答 2015年の登録に向けて、国及び舞鶴市においても申請の動きが報道されており、日本からの申請件数が3件以上の場合は、国内委員会で絞り込みが行われるため、関係者や市民一体となった盛り上げがりを醸成しアピールしたい。

審査の中で

問 雇用する人数は。

答 事業費の2分の1以上を雇用するための資金に充てることが条件となっており、3名の雇用を計画している。

商工費

○南九州市ブランド化推進事業費

592万3千円

市特産品のブランド化を推進する事業が、鹿児島県重点分野雇用創出事業の認定を受けたことにより、補正するものである。

消防費

○広域消防組合費

△2091万3千円

指宿南九州消防組合の消防救急無線デジタル化における共通波の実施設費の増額と、二重計上

されていた旧南薩地区消防組合出向職員分の期末・勤勉手当を減額するものである。

審査の中で

委員から、二重計上という大きなミスが発生しているが、消防組合、市双方の精査不足が原因であることから、本件に限らず予算計上にあたっては慎重を期すようとの意見が出された。

農林水産業費

○県営土地改良事業費

1449万8千円

事業の一括採択により、県及び県土地改良事業団体連合会に対する事業負

担金を追加するものである。

審査の中で

問 事業の詳細について。
答 本市の事業費は本年度から10年間で、約31億9100万円で、事業費の10%が市の負担金である。

事業内容は、給水栓の更新約3万700力所が主体であるが、制水弁の更新や増設で断水による影響を最小限に抑える。また、ほ場内の配管補修と、知覧地域西部12工区の一部に配管されている石綿管1600メートルをビニール管に更新する。



腐食した給水栓

茶業振興費・世界記憶遺産推進費



降灰洗浄施設

○活動火山周辺地域防災
営農対策事業費
7億1492万円

13茶工場の追加採択及び既予算計上4事業主体の用水供給施設追加採択により増額するものである。

問 用水供給施設について。

答 これまでボーリングについては自己資金対応で、水が確保された段階でポンプ等の用水施設については補助対象となっていたが、今回から掘削についても補助対象となった。

土木費

○住宅整備事業費

367万3千円

老朽化した川辺地域緑ヶ丘団地2棟と、顕娃娃域ふもと新町の公営住宅1棟3戸が空き家となったため、解体経費を補正するものである。

問 今後の住宅整備計画は。

答 市営住宅の政策空き家を89戸管理している。空き家になり次第、解体していく。住宅整備については計画に基づき整備を図っていく。

※政策空き家とは

老朽化等の理由で、空き家になっても入居の募集を行わない市営住宅

民生費

○施設整備等補助事業費

2億420万円

平成24年度から26年度の介護保険事業に基づく、地域密着型サービス施設整備に伴い、施設整備を行う事業者に補助するものである。

審査の中で

問 小規模特別養護老人ホームの建設場所が、伝統的建造物群保存地区内となっているが、審議会等との協議は十分なされたか。

答 景観に配慮して、建物と道路の間に高木の植栽を行うこと。また、外側階段の目隠し用格子を天然木とすることが条件となっている。

教育費

○小学校施設管理費

119万2千円

高田小学校5・6年生が複式学級になったことにより、6年生教室を複式授業に対応できるように改修経費を補正するものである。

審査の中で

問 当初予算に計上できなかった理由は。

答 学校別に各学年の児童生徒数調査を年6回程度実施するが、10月1日の最初の調査時点では複式学級の基準16人を上回っていたため予算計上しなかった。



改修される教室